

# 幡多希望の家

◆◆ No.12 ◆◆

医療型障害児入所施設  
療養介護事業  
幡多希望の家

TEL(0880)66-2212 FAX(0880)66-2215  
HP ▶ http://www.hatakibou.jp/  
Mail ▶ hataki01@mb.gallery.ne.jp  
◀発行所▶〒788-0782 高知県宿毛市平田町中山867番地  
◀発行日▶2019年11月14日



先日岡山市で第45回日本重症心身障害学術集会が開催され、それに参加してきた。希望の家に赴任して4年目になるが、重症心身障害関連の学会に参加したのは初めてだった。多職種専門家が参加しており、多彩な発表があった。今回興味を持った演題に関連して少し書いてみたい。

発表は小児科の医師で題目は「末梢静脈路確保が困難な重症心身障害児に対する皮下輸液の経験」であった。2歳1か月と1歳2か月の幼児が感染症等で重症となったが、全身の浮腫等で末梢静脈路がどうしても確保が出来ず、仕方なく皮下に注射針を留置してそこから電解質輸液製剤、抗生剤、昇圧剤等の投与を行って救命できたとの報告であった。

皆さんも経験があると思うが、医療機関で点滴をしようと言われた後、たいていは看護師さんが上肢の静脈血管に針を刺して輸液を行う。医師が点滴の穿刺をすることはほとんどない。小児科は別で医師がすることがよくある(名人芸だと思ふ)。上肢の静脈が皮下にしっかり浮き出ている人は良いが、もともと静脈が皮下に埋まっている人や、過去の治療等で静脈血管が駄目になっている人には、点滴の穿刺が1回で成功するかは問題で、何度も穿刺を繰り返されるともう辞めて欲しいと、喉まで声が出かかってくるが我慢するしかない。大きなストレスである。

希望の家に入所している大多数の方は、血管の発育が悪く、静脈血管への穿刺が困難なことが多い。私からするとよくこんな細い血管に穿刺ができるもんだと感心するが、それでも看護師が穿刺に難渋している現場をみる。以前は私も細い血管への静脈穿刺を試みていたことがあるが、年齢には勝てず希望の家ではほとんどやっていた。なんとかならないかと悩んでいたところにこの演題発表があった。癌患者さんや高齢者の末期の状態になってくると、やはり静脈血管への穿刺が困難になることが多く、このような緩和医療の現



場ではもう20年以上前から皮下注射による輸液が行われている。特に在宅の患者さんに輸液を行うにはこの皮下注射は安全で穿刺にも苦勞せず、患者さんもある程度は動いて、苦痛はなく非常に有効であり、広く行われるようになった。もし皮下注射の針が抜けても家族の方に抑えてもらえたとすぐに止血が出る。血管へ穿刺している場合は、針が抜けると概ね医療者が患者に訪問して出血がないか確認する必要がある。夜中などの呼び出しでは医療者にも負担になってくる。しかし輸液製剤は電解質輸液が中心であり、その他の製剤での皮下注射はそれほど普及していなかった。最近はそのようなことはないようだが。

今回の演題を聞いて、当院でも単純な抗生剤等は皮下注射でも有効な方法ではないかと考えられた。今後製薬メーカーと情報交換をして、安全なやり方を検討して利用者さんの苦痛が少しでも減らせる方法を考え実践していきたいと考えている。

この3年間は体調の問題もあり、学会への参加はできていなかったが、やはり積極的に参加して新しい知見を得ることは大事なことで改めて感じている今日この頃である。

施設長 山本 洋



・前号に載せた青柿が今や食べ頃となりました。季節の移ろいを感じますね。よかったです前号の写真と比べてみてください。(このあと速攻で収穫しました。)

## 施設長便り 第12号

# ピーターパンカード寄付金 贈呈式

9月11日(水)、宿毛商銀信用組合さんからピーターパンカード寄付金をいただきました。

この寄付金は、しんくみピーターパンカードというショッピングカードで買い物をする時、その利用額の0.5%が障害や難病の子どものためのチャリティ関連に寄付されるもので、社会貢献の一環として長年継続している制度なのですが、今年度は宿毛商銀信用組合さんから幡多希望の家にと36万2千357円の寄付の申し出をして頂きました。

今回頂いた寄付金は利用者の方の電動ベッド購入費用の一部とさせて頂き、早速4台の電動ベッドを購入いたしました。



最後に、カードの名称になっているピーターパンの映画から心に残る名言をいくつか必要なのは、ただ信じるということ。飛べるかどうかを疑った瞬間に永遠に飛べなくなっているんだ。

総務部長 井上

## インフルエンザに注意しましょう【感染経路と予防】



高知県全域では、9月16日〜9月22日にインフルエンザの流行開始の目安である1.0を超え、全国的にも複数の県で学級閉鎖の報告がありました。インフルエンザの感染を広げないために、「一人一人が「かからない」「うつさない」対策に取り組むことが大切です。

### ◎感染経路

**飛沫感染**  
感染した人が咳をすることで、飛沫に含まれるウイルスを別の人が口や鼻から吸い込んでしまい、ウイルスが粘膜から体内に入り感染します。

### ◎接触感染

感染した人が咳を手で押さえた後や鼻水が付いた手で、ドアノブ、スイッチ、手すりなどに触れ、その場所に別の人が手で触れ、鼻や口を触ることにより、粘膜などを通じてウイルスが体内に入り感染します。

### ◎予防のポイント「手洗い」「マスク着用」「咳エチケット」

・外出先から帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめに手を洗います。  
・洗い残しが多い指の間、手のしわ、爪、手首も丁寧に洗います。  
・石けんで手洗い



**咳エチケット**  
・くしゃみや咳が出る時は必ずマスクをつけましょう。  
・くしゃみや咳をするときは、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周囲の人から顔をそむけましょう。  
・使用後のマスクやティッシュは放置せず、すぐにゴミ箱に捨てましょう。

### ◎ワクチン接種

・インフルエンザワクチンを接種し、重症化を防ぎましょう。  
・健康管理  
・流行期は人込みへの外出を控え、十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけましょう。

検査科 田村



## 編集後記

先般、台風や豪雨で重大な災害に遭われた所がありますが、とても他人事ではありません。心からお見舞い申し上げます。皆様も1日も早く通常の生活に戻れるよう願っています。職員一同、お待ちしております。



## 職員コラム ~あんなこと、こんなこと~



50を過ぎた頃からひしひしと老化を感じようになってきて、『このままではいけない!』と奮起一発、昨年ロードバイクを購入。  
ヨレヨレながらも今春、山あり谷ありの無限大ライド150kmコースを完走。調子に乗って先日は四十ツリーバーライド165kmに挑戦!正直、何度も心折れそうになりながらもエイド(補給食ポイント)の食べ物だけを楽しみに、何とか無事完走できました。  
自分を追い込んでいくことのしんどさを快感に思えるようになってきた。ちよつと危険なM事務員でした。



# 取り組み



廃校を利用した「山里の家」楠山にあります。



宣誓!!  
ワレワレは…!

本日は山里の家で  
さくらんぼの  
運動会

病棟と通園では  
室内で夏祭り  
(外は暑過ぎ!)



小魚すくい



いっぱい釣れたネ!



かき氷  
何味に  
しようかな…

ニャンだ  
おまえか

山里の家の住猫たち



うんどうかい

